



病気の基礎知識や予防法をアドバイス

Simple 健康カルテ

File No.2 「インフルエンザ」

[今月のドクター]



【伊勢市】
医療法人 MSC
齋藤 公正 理事長

<経歴>
愛媛大学医学部卒
山田（現伊勢）赤十字病院
呼吸器科副部長
<現在>
さいとう内科呼吸器科
三重スリーブクリニック院長
三重ハートセンター非常勤医

今日はインフルエンザについて。日本人で毎年1,000万人、つまり約10人に1人がかかる感染症=うつる病気です。かからない事も、人につつながり意識も大切です。

インフルエンザウイルスとは
大きさ1万分の1mmくらいのウイルスで、その表面に2種類のタンパク質が存在します。1つはヘルペスウイルス(HA)で、もう一つがノイラミニダーゼ(NA)です。A型には、HAとNAの種類の組み合わせから、例えばH3N2等の亜型があります。

「感染のしかた」
人から人へ飛沫を介して感染します。飛沫とはインフルエンザにかかった人が咳やくしゃみをした時に放出されるウイルスを含んだ粒子です。飛沫から水分が蒸発すると飛沫核(直径5μm)になり、空气中に長く停滞します。飛沫はマスクであります。飛沫核は普通のマスクは通り抜けてしまいますが、手に着いたウイルスが口から感染する事もあります。

「流行のしかた」

地球規模で考えると、温帯地域では北半球で12~3月、南半球なら4~9月の冬季に流行します。東南アジア等では年間を通してみられ、旅客機や船等の交通機関を通じて世界中で拡がります。地域では、保育園幼稚園小中学校で流行り、次に家庭で親や高齢者へと拡がっていきます。

「ワクチン」
その年の流行株を予想し、A型の

季節性の流行株は大きくて3種類。

A型(H3N2)・H1N1、B型です。

2013/14シーズンは、例年より

流行が遅れました。1~2月に

続きました。流行株も、A型の

H1N1→H3N2→B型と変化してい

るのが最近の特徴でしたが、昨シ

ーズンは初期から3種が混在し、当院

でも検査キットでA型、B型が同時

陽性例もみました。

「症状・経過・注意点」

症状の特徴は、突然38度を超すような発熱で発症し、寒気、倦怠感、頭痛、関節・筋肉痛などの全身症状を伴う事が多く、その後に鼻水や咽の痛みが出発する点が普通の風邪と違います。ただし、高齢者は熱が出にくく、注意が必要。A型、B型での症状に大きな違いはありませんが、A型に高熱が、B型に下痢や嘔吐等の消化器症状が多いと言われています。自然経過でも3~5日で熱は下がりますが、一旦下がっても1~2日して再上昇することがあります。二峰性発熱と呼びます。このパターンは成人より小児、A型よりB型でよくみられます。

「日常生活での予防」
日常生活では、「かからない」「うつらない」意識が大切です。

「かからない」ために①外出後の

手洗い・うがいは確実に。②十分な

睡眠と栄養摂取。③部屋の湿度を

50~60%に保つ。④流行時は人ごみに行かない。⑤かかつたかなと思ったら早めに受診。

「日常生活中の予防」

日々の行動は3~9歳に多く、窓ベランダからの飛び降りに繋がる危険もあり、子供の場合、少なくとも発症から48時間は、注意深く見ていく必要があります。

異常行動は3~9歳に多く、窓ベランダからの飛び降りに繋がる危険もあります。飛沫を飛ばさないためには、咳エチケットは必ず守って下さい。

①マスクをする②ティッシュ等で鼻と口を覆う。③覆った後はすぐゴミ箱へ。

④周囲の人からなるべく離れ、顔をそむける。

(参考図：政府広報オンラインより)

健康だからできること。
挑戦します。これからも。

水中表現家
ギネス世界記録保持者
二木あい
海底洞窟を一息で泳ぐ
世界初 90m
女性 世界初 100m

「できない」という思い込みを取っ払う。
もっと、自分を楽しむために。」

健康はキヨーリンの願いです。

Kyorin
キヨーリン製薬グループ

キヨーリン製薬ホールディングス
キヨーリン製薬
キヨーリンリメディオ
ドクタープログラム
キヨーリンメディカルサプライ
キヨーリン製薬グループ工場

[本社] 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地